

## 甲府市相川小学校・・・7月5日（金）訪問

甲府市立相川小学校では、6人の学生の皆さんが、主に1年生・6年生・特別支援学級での教育支援活動をしています。

訪問当日は、お忙しい中にもかかわらず、小宮山尚校長先生、桐山賢一教頭先生が対応してくださいました。

2校時に、特別支援学級の授業を参観しました。ここでは梶原明日香さん（生活社会教育コース1年）が、教育ボランティアとして活躍していました。一人一人に寄り添い、丁寧な支援をしていました。梶原さんは1年生です。しかし、子どもたちには学生の学年など関係ありません。梶原さんは、頼れる先生の一人として輝いていました。



梶原明日香さん～教室で活動中。先生方とも仲良くなりました～

### ◇梶原さんに聞いてみました

#### 教育ボランティア活動をしようと思ったきっかけは何ですか。

・将来教師になりたいという夢があるため、なるべく早く現場の空気を体験したいと思ったからです。

#### 受入先の先生方から学んだこと、子どもたちから学んだこと

- ・先生から・・・授業準備や児童のノートチェックなど常に次やることを考えながら行動されている姿です。
- ・子どもたちから・・・小学生は同じ小学生という括りでも1年生～6年生まで学年が2つ違うだけで成長度が全く異なるということを改めて痛感しました。6年間でこれほどまで成長するのかと思うほどで、会話での言葉遣いも語彙のレベルも変えていくことが必要であるということ学びました。

#### 教育ボランティアをやってみてよかったと思うこと

- ・大学で学んでいることと教育ボランティアでの活動がリンクして、理解が深まったときです。
- ・大学の授業で行う模擬授業では、他グループの発表に対して、自分が経験してきた教育ボランティアでの活動での子どもたちの反応を思い出しながら様々な意見を出し、考えることができました。

#### 教育ボランティア活動を始めようと考えている学生へのアドバイス

- ・リアルな現場でリアルな子どもたちの反応を間近に見ることができるので、とても勉強になります。授業構成や先生方による子どもへの対応など、大学での学習に生かすことができることばかりです。また、先生方もとても優しく、様々なアドバイスをくださるので楽しく行えています。なるべく早く初めて経験を積んでいくことがおすすめです。

#### 教育ボランティア活動についての感想・要望等

- ・子どもたちがとってもかわいく、とてもやりがいがあります。できる限り、続けていきたいと思っています。

### 小宮山 尚 校長先生のお話

すばらしい人間性をお持ちの学生さんばかりです。本校での活動を通し、多くの学びを得られていることと思います。本校としても、学生さんの支援に大変助けられており、まさにWIN-WINの関係となっているのではないのでしょうか。本校での経験が、教職へつながっていくことを期待しています。

### ◇防園を養えて

梶原さんを見つめる子どもたちの目は、安心と信頼があるからこそその輝きをもっていました。日頃の教育ボランティア活動の受け入れや今回の学校訪問に際しまして、相川小学校の先生方のご配慮に心から感謝致します。